

第 65 回 定時株主総会 質疑応答(要旨)

事前に当社ウェブサイトにてお受けしたご質問への回答		
1	Q	株主優待の廃止理由について教えて欲しい。
	A	株主優待制度については、機関投資家や法人株主からの否定的な意見があることも承知しており、より公平な株主還元について慎重に検討を重ねた結果、2025 年3月末基準をもって株主優待制度を廃止させていただく。なお、今後も株主還元のあり方については継続して検討していく。
2	Q	今後の事業展開について教えて欲しい。 ①物流業界向けの展開、②自動運転技術に関する取り組み、③個人向け地図サービス
	A	①運送・配送業務の効率化や標準化を支援するため、住宅地図データをベースとした様々なサービスを提供しており、大手物流業界から個人の配送業者まで幅広く利用されている。 ②自動車メーカー向けに高精度3次元地図を提供している。自動運転においては、カメラ・センサーなどから得られる情報だけでなく、道路の形状や交通規制などを先読みできる高精度な地図情報を参照することにより、より効率性や安全性が担保できると考えている。 ③今後、更に事業を拡大するための1つの施策だと捉えており、現在長崎県でリリースしている個人向け観光アプリのその他地域への展開も計画している。 当社は、安全・安心で快適な社会の実現に貢献するため、様々な業界や地域の皆さまへの、位置情報サービスの提供を通じて、社会的価値を創造していく。
3	Q	株価についての見解を教えて欲しい。
	A	株価は、市場動向等の外部環境も影響しているため、詳細なコメントは差し控えるが、株価の裏付けとなる業績を伸長させるとともに、情報開示や IR 活動を更に充実させ、株主の皆さまの期待に応えられるよう精進していく。
株主総会当日に会場でお受けした質問への回答		
1	Q	3D都市モデルをどのように利益に繋げるのか教えて欲しい。
	A	3D都市モデルは、現在、カーナビゲーションにおいて交差点等での安全な誘導や、建物を建設する際の環境シミュレーションに活用されている。今後は、技術のトレンドである「デジタルツイン」のベースになると考えているが、高精度な3D都市モデルの利活用は検討中であり、今後、顧客とともにその市場を開拓したい。
2	Q	自動運転に関して今後競合となる企業があるのか、また自動運転に関連する売り上げが伸長する時期について教えて欲しい。
	A	自動運転は様々な技術の融合であり、ドライバーの運転を安全にアシストする ADAS※1 や、レベル4※2 での公共交通、ロボットタクシーなど様々な形があるが、そのどれにも地図が使われている。地図はセンサーや AI 等と組み合わせ使っていくものであるため、市場動向と地図の価値を見極めながら商品・サービスを創っていく。また、自動運転については、2030 年以降に普及すると考えており、普及に伴い地図利用の範囲が広がり、売り上げにも繋がると考えているため、2030 年以降を見据えて「ZENRIN GROWTH PLAN 2030」の取り組みを実行していく。既に、ダイナミックマッププラットフォーム(株)と協働し、自動車メーカー向けに高精度の高速道路データを提供しており、今後、その市場が広がると認識している。 ※1: ADAS(Advanced Driver Assistance System):先進運転支援システム ※2: 特定条件(場所、天候、速度など)下における完全自動運転
3	Q	地図の利用用途は、業者向けの堅いイメージがあるが、個人向けの観光やゲームなど柔らかい事例があれば教えて欲しい。また、現在ではなく将来的な計画があれば教えて欲しい。
	A	コンシューマー向けサービスにも挑戦したい。現在展開しているコンシューマー向けサービスには、(株)ゼンリンデータコムが提供する「いつも NAVI」や、長崎県で 2021 年 12 月から開始した観光サービス「STLOCAL」があり、「STLOCAL」は地域の観光情報や店舗と観光客をマッチングしながら、収益化する仕組みであり、今後は対応エリアを拡大も検討している。既存ビジネスと新しい観光 DX サービス等にも取り組みながら、よりわかりやすいサービスを展開していく。

上記質問の他に、全国にあるネットワークと技術力を生かし、良い商品を作って欲しいとのご意見を頂戴しました。